



KSR110 ブレーキホースキット (フロント用) 取扱説明書

商品番号：06 08 2030

適応車種及びフレーム番号

'03 ~ '08 KSR110 / KL110A 000001 ~
/ KL110A A02833 ~
'12 KSR110 (KL110CBF) / JKAKL110CCDA00058 ~
'13 KSR110 (KL110DDF) / KL110D A57002 ~
'14 KSR PRO (KL110EEF) / JKAKL110EEDA88121 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

当製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

当製品で使用されているバンジョーボルトのネジピッチは10 × 1.25です。取り付け前に、使用するマスターシリンダー、キャリパーのネジピッチが同一である事をご確認下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
- ・ブレーキホースに使用するシーリングワッシャは、脱着ごとに必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

特徴

KSR110のフロントブレーキに使用するブレーキホースのキットです。

バンジョーアダプタータイプのフィッティングを採用することにより、自由度の高い取り回しを可能としました。

～商品内容～



| 番号 | 商品内容 | 数量 |
|----|--------------|----|
| 1 | ブレーキホース | 1 |
| 2 | バンジョー(ストレート) | 1 |
| 3 | バンジョー(25°) | 1 |
| 4 | バンジョーボルト | 2 |
| 5 | シーリングワッシャ | 4 |
| 6 | ブレーキフルード | 1 |

～取り付け要領～

1. セット内容を確認します。
2. 作業に適した工具を用意します。
3. バンジョーボルトに シーリングワッシャ、バンジョー(25°)、シーリングワッシャの順で通し、マスターシリンダーに取り付けて仮締めします。
フロントキャリパー側は バンジョー(ストレート)をマスターシリンダーと同様の方法で取り付けます。
4. ブレーキホースを各バンジョーに取り付けます。バンジョーの取り付け角度、ブレーキホースの取り回しが決まれば、バンジョーボルト、ブレーキホースのフィッティングを規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

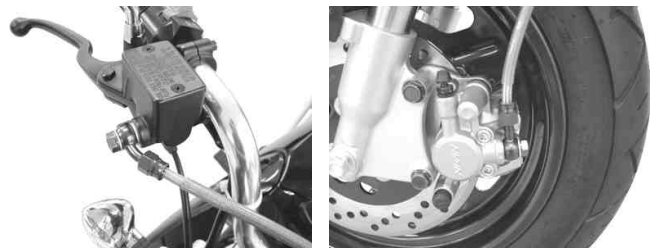
バンジョーボルト

: 1.3 ~ 1.5 N・m (1.3 ~ 1.5 kgf・m)

フィッティング

: 5 ~ 6 N・m (0.5 ~ 0.6 kgf・m)

ブレーキホースの取り回しは、STDの取り回しを参考にしてハンドル操作時やフロントフォーク作動時に無理のかからない状態になるように注意しておこなってください。



～マスターシリンダー、キャリパーのエア抜き作業～

1. プリーダバルブを締め付け、リザーバタンクにブレーキ液を注入し、ダイヤフラム、セットプレートを取り付けます。
2. ブレーキレバーの操作を繰り返し、ブレーキ液レベルに注意しながらキャリパー、ブレーキホース、マスターシリンダー内にブレーキ液を満ちます。この操作をリザーバタンク内の穴から気泡が出なくなるまで(ブレーキレバーの操作に重みを感じるまで)行います。
3. ブレーキレバーを数回操作し、作動させた状態でプリーダバルブを1/2回転緩め、再度締め付けます。
プリーダバルブを締め付けるまで、レバーを放さないで下さい。
4. ブレーキレバーをゆっくり放し、完全に戻ったら数秒間放置します。
5. 3、4の作業をプリーダバルブ、リザーバタンクから気泡が出なくなるまで繰り返します。
6. プリーダバルブを締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

トルク：6 N・m (0.6 kgf・m)

7. エア抜き後、ブレーキ液レベルを点検し、必要があれば補充します。
8. リザーバカバーを取り付けます。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>